

お知らせ

平成19年 6月 4日



吉井川・旭川・高梁川の 洪水予報連絡会並びに水防連絡会 を開催します。

梅雨、台風等の本格的な出水期を前に、岡山三川（吉井川・旭川・高梁川）の洪水予報の円滑な運用を図るため、また、洪水時に迅速かつ的確な水防活動が実施されるよう、関係機関による連絡会を次のとおり実施します。

高梁川洪水予報連絡会並びに水防連絡会
平成19年6月12日（火）13:30～15:00

吉井川・旭川洪水予報連絡会並びに水防連絡会
平成19年6月13日（水）13:30～15:00

国土交通省岡山河川事務所

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

電話 086 - 223 - 5101

洪水予報連絡会 副所長（技術） 植田 光明（内線205）

調査設計課長 上橋 昇（内線351）

水防連絡会 副所長（技術） 小坂田 堅（内線204）

管理第一課長 三輪 雅夫（内線331）

吉井川・旭川・高梁川の

洪水予報連絡会並びに水防連絡会

を開催します。

高梁川	平成19年6月12日(火) 13:30~15:00 ウェルサンピア岡山(岡山厚生年金休暇センター) 豪渓
吉井川・旭川	平成19年6月13日(水) 13:30~15:00 岡山衛生会館(三木記念ホール) 中ホール

洪水予報連絡会

水防法及び気象業務法の規定に基づき、岡山河川事務所と岡山地方気象台とが、共同で洪水予報業務を実施する洪水予報指定河川として岡山三川【吉井川及び金剛川：平成8年3月22日付(建設省、運輸者告示第1号)、旭川及び百間川：平成3年3月27日付(建設省、運輸者告示第2号)、高梁川及び小田川：平成9年3月21日付(建設省、運輸者告示第3号)】が指定されました。

こうした中で、岡山河川事務所は、洪水予報の円滑な運用を図るため、関係官公庁及び諸団体で構成する洪水予報連絡会を毎年開催していますが、今年度は、洪水予報発表形式の改善等の「防災情報体系の見直し」(別紙参照)と当事務所が開発した「河川道路総合型地域防災情報システム」(別紙参照)を中心に説明を行う予定です。

なお、洪水予報河川には、全国109の一級水系の233河川が指定されています。

水防連絡会

岡山河川事務所は、洪水時に迅速かつ的確な水防活動が実施されるよう、水防管理団体と河川管理者とが水防に関する情報交換や協力体制の強化を目的に、水防連絡会を昭和58年に設立し毎年開催しています。

今年度は、梅雨期に先がけて危機管理体制の充実を図るため、水防団(消防団)の方々と昨年実施した合同巡視の状況報告、重要水防箇所の確認、情報の共有化・意見交換、及び6月3日に実施した吉井川水防演習の状況報告等を行う予定です。

洪水予報発表形式の改善について

平成19年4月19日から、国（中国地方整備局と岡山地方気象台）が発表する洪水予報において、洪水の危険のレベルをわかりやすい表現に改善し、市町村や住民がとるべき避難行動等との関連をわかりやすくしました。

岡山県と岡山地方気象台が発表する洪水予報の改善についても、今後順次実施する予定です。

中国地方整備局、岡山地方気象台及び岡山県は、洪水予報を行う河川とその区間を指定し、洪水のおそれがある場合に共同で洪水予報を発表しています。

洪水等が発生した際、地域住民のよりの確で安全な避難実施のためには、河川の危険な状況等の防災情報が、迅速に伝達されるだけでなく、受け手や伝達者である住民や市町村の防災担当者、報道機関に正確に理解され、的確な判断や安全な行動につながる情報の内容や表現であることが極めて重要です。

このため、国土交通省河川局及び気象庁では、「洪水等に関する防災用語改善検討会」を設置し検討を行ってききましたが、昨年6月に検討委員会の提言が「洪水等に関する防災情報体系のあり方について」としてとりまとめられ、これに基づき、「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」（平成18年10月1日国河情第3号河川局長通知）を定め、洪水予報の発表形式を改善することとしました。

今回の改善の主なポイントは以下のとおりです。【参考1～4参照】

1. 市町村や住民がとるべき避難行動等との関連が理解しやすいように、洪水予報の標題と水位の名称を洪水の危険に応じてレベル化します。危険レベル毎の標題とそれに対応する水位等は以下のとおりです。

レベル5	標題：はん濫発生情報	状態：はん濫発生
レベル4	標題：はん濫危険情報	水位名称：はん濫危険水位
レベル3	標題：はん濫警戒情報	水位名称：避難判断水位
レベル2	標題：はん濫注意情報	水位名称：はん濫注意水位
レベル1	（発表はしない）	水位名称：水防団待機水位

- 2 . 洪水予報の内容を理解しやすくするため、発表内容を要約した見出し文（40文字以内）を新たに付けます。

今回の改善は、岡山河川事務所及び岡山地方気象台が共同で発表する吉井川、金剛川、旭川、百間川、高梁川、小田川を対象とする洪水予報については、平成19年4月19日から実施しました。

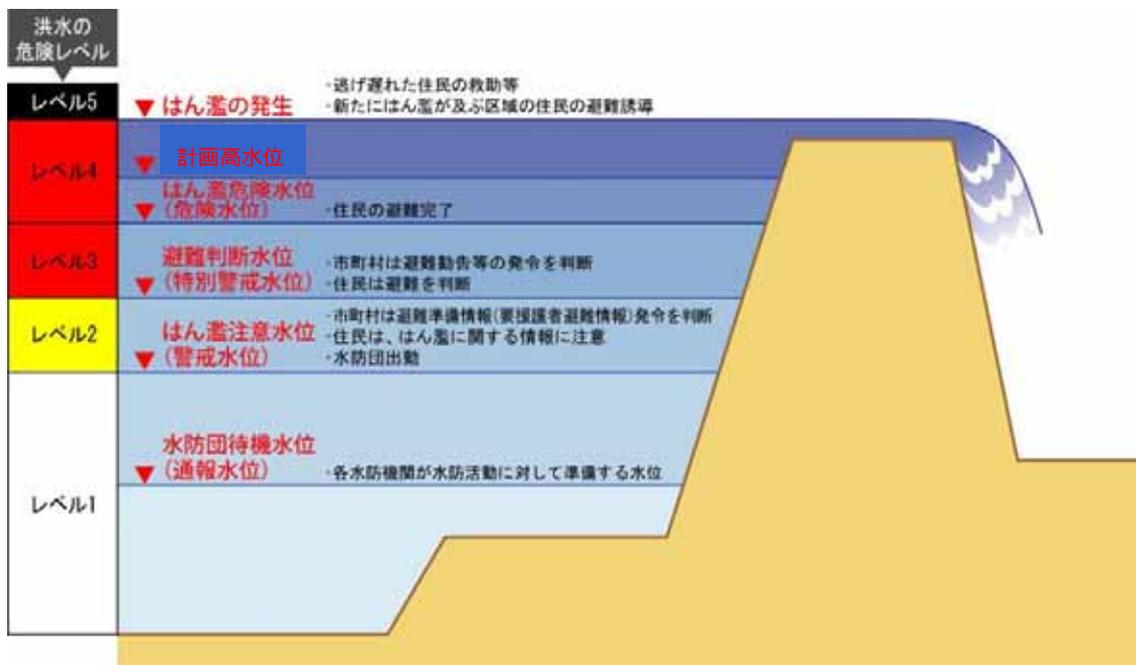
岡山県及び岡山地方気象台が共同で発表する笹ヶ瀬川、足守川を対象とする洪水予報の改善実施時期についても、4月19日から実施していますが、今年度は暫定運用のため、「洪水予報の標題」のみの変更であり、主文中の「予報の名称」、「水位の名称」、「見出し文」の改善については、平成20年の出水期までに実施する予定です。

（問い合わせ先）

中国地方整備局岡山河川事務所調査設計課 TEL 086-223-5101

【参考 1】 洪水の危険のレベルに対応した表現等

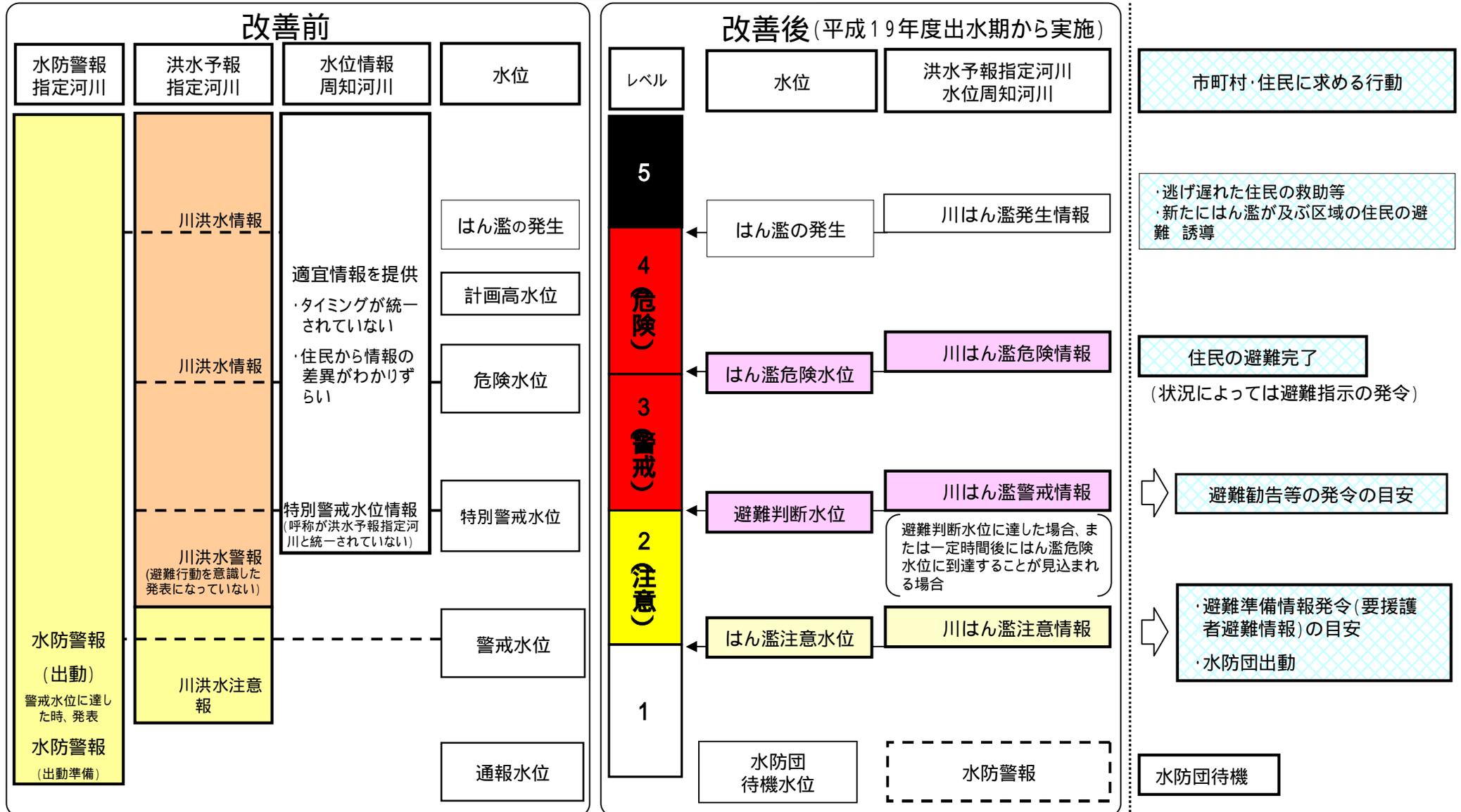
洪水の危険のレベル	洪水予報の標題 [洪水予報の種類]	水位の名称	市町村・住民に求める行動等
レベル5	はん濫発生情報 [洪水警報]	(はん濫発生)	逃げ遅れた住民の救助等 新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導
レベル4	はん濫危険情報 [洪水警報]	はん濫危険水位	住民の避難完了 (状況によっては避難指示の発令)
レベル3	はん濫警戒情報 [洪水警報]	避難判断水位	市町村の避難勧告等の発令の目安
レベル2	はん濫注意情報 [洪水注意報]	はん濫注意水位	市町村の避難準備情報(要援護者避難情報)発令の目安 水防団出動
レベル1	(発表なし)	水防団待機水位	水防団待機



洪水等に関する防災情報体系の見直しの概要(県暫定版除く)

大川、中小河川を問わず発表する防災情報とそれに対応する水位を統一
発表情報と避難行動等との関連を明確化
水位名称を受け手のとるべき行動や危険度レベルがわかるものに改善

詳しくは、平成18年6月22日発表報道発表資料『「洪水等に関する防災情報体系のあり方について」の提言について』を参照願います。
http://www.jma.go.jp/jma/press/0606/22a/kouzui_yougo_houkoku.htmlまたは
http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/05/050622_2_.html



国土交通省と気象庁が共同で実施する洪水予報文の改善点

現行

変更後

S川洪水予報 第 号
 平成 年 月 日 19時30分
 河川事務所・ 気象台 共同発表

【種類】
 S川洪水注意報発表

【主文】
 S川のN市M地区S水位観測所では、警戒水位を超える出水となる見込み
 ですので、各地とも十分な注意をしてください。

【現況文】
 停滞前線と台風 号による降り始めの11日2時から11日19時までの、S川流域
 の流域平均雨量は、167ミリに達しました。S川の水位は11日19時現在、次のと
 おりになっています。
 ・S水位観測所(N市M区N)で3.5m程度(上昇中)

【予想文】
 この雨は、今後一層強まるでしょう。11日19時から22時までのS川流域の流域
 平均雨量は、170ミリの見込みです。
 S川の水位は、11日22時には次のように見込まれます。
 S水位観測所(N市M区N)で4.8m程度

【参考資料】
 S水位観測所〔N市M区N〕
 堤防高 8.4m、危険水位 5.5m、警戒水位 4.6m、
 平常水位 1.26m

新規
 洪水予報のタイトル
 (レベル化して表示)

S川はん濫注意情報

S川洪水予報 第 号
 洪水注意報(発表)
 平成 年 月 日 20時30分
 河川事務所・ 気象台 共同発表

S川 はん濫注意水位に到達 水位はさらに上昇するおそれ

【主文】
 S川が増水し、はん濫注意水位(レベル2)に達しました。水位はさらに上昇
 する見込みです。～ 地区では身のまわりの備えをするとともに、洪水
 予報に注意してください。

【降雨と水位の現況】
 停滞前線と台風 号による降り始めの11日2時から
 の流域平均雨量は、167ミリに達しました。S川の水位
 のとおりになっています。
 ・S水位観測所(N市M区N)で4.6m(水位危険度レベル2)
 (1時間に25cmの速さで上昇中)

【降雨と水位の予想】
 この雨は、今後一層強まるでしょう。11日19時から22時までのS川流域の流域
 平均雨量は、170ミリの見込みです。
 S川の水位は上昇傾向にあり、22時頃には、次のとおりと見込まれます。
 ・S水位観測所(N市M区N)で4.8m程度(水位危険度レベル2)

【参考】
 S水位観測所
 受け持ち区間 A県B市からA県C町(左岸) B県B市からB県C町(右岸)
 はん濫危険水位5.5m、避難判断水位5.0m、はん濫注意水位(警戒水位)4.6m
 水防団待機水位 . m、平常水位1.26m
 水位危険度レベル

- レベル5 はん濫の発生
- レベル4 はん濫危険水位超過
- レベル3 避難判断水位超過
- レベル2 はん濫注意水位(警戒水位)超過
- レベル1 水防団待機水位超過

水位レベルの記述

新規

<変更のポイント>

- ・とるべき行動との関連が理解されやすいように
 タイトルと水位をレベル化
- ・洪水予報の内容が理解されやすいよう情報の見
 出しを付加
- ・その他用語の変更(赤字)

都道府県と気象庁が共同で実施する洪水予報文の暫定改善例

現行

変更後

S川洪水予報 第 号
平成 年 月 日19時40分
県・ 気象台 共同発表

種類
S川洪水注意報発表

主文
S川S水位観測所では、警戒水位を超える出水となる見込みですので、各地とも十分な注意をしてください。

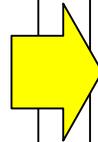
現況と予想
S川流域の流域平均雨量
11日17時から11日19時までの現況67ミリ
11日19時から22時までの予想70ミリ
S水位観測所〔N市M区N〕の水位は
11日19時の現況 4.6m程度(上昇中)
11日22時の予想 4.9m程度

【参考】
S水位観測所〔N市M区N〕
堤防高8.4m、危険水位5.5m、警戒水位4.6m、平常水位1.26m

新規

洪水予報の標題
(レベル化して表示)

S川はん濫注意情報



S川洪水予報 第 号
洪水注意報(発表)
平成 年 月 日19時40分
県・ 気象台 共同発表

主文
S川のS水位観測所では、警戒水位を超える出水となる見込みですので、各地とも十分な注意をしてください。

現況と予想
S川流域の流域平均雨量
11日17時から11日19時までの現況67ミリ
11日19時から22時までの予想70ミリ
S水位観測所〔N市M区N〕の水位は
11日19時の現況 4.6m程度(上昇中)
11日22時の予想 4.9m程度

【参考】
S水位観測所〔N市M区N〕
堤防高8.4m、危険水位5.5m、警戒水位4.6m、平常水位1.26m

<変更のポイント>

- ・とるべき行動との関連が理解されやすいように
標題をレベル化

「見出し文」及び「水位の名称」の改善については、国土交通省と気象庁が共同で実施する洪水予報と同様の形式で準備が整った河川から順次実施します。

全国初!

『河川道路統合型地域防災情報提供システム』の特徴について

- 防災情報は、気象状況、河川水位や雨量の情報、交通規制情報、河川・道路・土砂災害の状況、自治体の避難勧告発令状況など、多岐にわたり、いくつかのサイトを閲覧しなければ全容が把握できない不便な状況でした。当事務所では、岡山県内の防災情報の一元化を最終的な目標として、当面は岡山河川事務所管轄エリア周辺の河川と道路の防災情報を統合し、一般の方でも閲覧しやすいGIS（地理情報システム）を利用した防災情報ポータルサイト「河川道路統合型地域防災情報システム」を開発した。

※ 平成19年6月15日～平成20年3月31日で試行運用を行い、各自治体より意見を収集し改良を行います。平成20年4月1日より本運用を開始します。

■河川道路統合型地域防災情報システムの例■

地図上に防災情報を表示します。災害の種類別にアイコンを表示し、いつでも何が発生しているか、一目瞭然です。

のり崩れ
事象：のり崩れ発生
日時：2007/03/15 08:54:08
地点：岡山県高岡二丁目1番地 付近
内容：1+20mにわたってのり崩れが発生し、続発傾向に陥って通勤を困難にしました。

洪水予報	水防警報	発表状況	発令時刻	災害発生状況
高岡川	1/19 18:00第2号	未発表	NEW 2007/03/19 11:56:30	水
高岡川	1/19 18:00第2号	未発表	NEW 2007/03/19 10:21:20	水
高岡川	1/19 18:00第1号	未発表	NEW 2007/03/17 11:47:04	水
高岡川	未発表	未発表	NEW 2007/03/17 09:09:27	水
高岡川	未発表	未発表	NEW 2007/03/16 18:41:52	水
高岡川	未発表	未発表	NEW 2007/03/16 15:11:14	水
高岡川	未発表	未発表	NEW 2007/03/16 15:09:11	水
高岡川	未発表	未発表	NEW 2007/03/16 10:43:09	水
高岡川	未発表	未発表	NEW 2007/03/16 08:27:50	水
高岡川	未発表	未発表	NEW 2007/03/15 19:39:32	水

洪水予報、水防警報の発表状況を表示します。発表項目をクリックすると、詳細を表示します。

洪水予報、水防警報の発表区間を地図上に表示します。

災害発生状況を時系列に表示します。

災害毎に履歴を残すことができ、過去にどこでどんな災害があったかを、後で見ることができます。

防災情報のメニューを表示しています。チェックボックスにチェックを入れることでその情報を地図上に表示します。

- リアルタイム河川情報
- リアルタイム道路情報
- リアルタイム気象情報
- 災害時情報
- 防災お役立ち情報
- など、防災情報を一元化

◇システムの特徴◇

- ①河川と道路の情報統合は、全国初の取り組み
河川と道路の一元化された防災情報、浸水想定区域、ゼロメートル地帯などをGIS上で表示し一般に提供する試みは、全国で初めての取り組みです。
- ②災害時の迅速な対応が可能に
「河川の浸水想定区域」、「岡山平野ゼロメートル地帯」、(今後、「避難場所」について表示を行う)などの情報を重ね合わせて地図上に表示することで、災害時の迅速な対応が可能となります。
- ③防災担当者の情報共有が可能に
防災情報は、自治体の防災担当者自ら入力することができます。河川の防災情報だけでなく、道路や土砂災害などの情報も入力することができ、県内の災害情報を一元化することができます。これにより、各分野の防災担当者が共通のプラットフォームから、様々な情報を共有できるようになります。
- ④河川の水位表示画像を一般公開
現在、防災担当者用に河川CCTV静止画像を31箇所提供しています。そのうち、橋梁に水位表示があり河川水位の状況を把握しやすい6箇所を、一般の方にも公開します。
- ⑤水防活動状況の表示
河川災害を未然に防止する活動として最も効果がある水防活動の状況を表示します。消防団（水防団）からの情報を取得することで、迅速な防災対策や避難に役立てることができます。

■河川CCTV静止画像提供の例■

河川	橋名	発表時刻	発表状況
高岡川	1-8k-2し給社	2007/03/19 11:56:30	未発表
旭川	1-3k-8L中ノ原	2007/03/19 11:56:30	未発表

■橋脚水位表示画像■



※GIS（地理情報システム）とは？
位置や空間に関する情報をもったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示できる高度な分析や迅速な判断を可能にする技術です。